

株式会社 KIT



 **RADEN ファンクション**  
リファレンスマニュアル

## はじめに

この度は当社のソフトウェア「RADEN」をご購入いただき、ありがとうございます。  
本書では RADEN デザイナーにて標準で使用できる部品について説明します。

### 著作権および商標について

RADEN は、(株) KIT の登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国、および その他の国における登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

本書の一部または全部を許可なく複製、複写、転載することを禁止します。

Copyright (c) 2012 KIT Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 目次

1.	文字列操作	1
1	1 COMPARE	1
2	2 MID	1
3	3 LEFT	2
4	4 RIGHT	2
5	5 FIND	3
6	6 LEN	3
7	7 REPLACE	4
8	8 UPPER	4
9	9 LOWER	5
10	10 TRIM	5
11	11 PADDING	5
2.	数値操作	7
1	1 ROUND	7
2	2 ROUNDUP	7
3	3 ROUNDDOWN	8
4	4 MOD	8
3.	ファイルシステム	10
1	1 フォルダ作成	10
2	2 ファイルコピー	11
3	3 フォルダコピー	12
4	4 削除	13
5	5 検索	14
4.	集計	15
1	1 SUM	15
2	2 AVERAGE	15
3	3 MIN	16
4	4 MAX	16
5.	日時取得	18
1	1 YEAR	18
2	2 MONTH	18
3	3 DAY	19
4	4 HOUR	19
5	5 MINUTE	19
6	6 SECOND	20
7	7 WEEKDAY	20
8	8 ToDate	21
6.	暗号化	22
1	1 SHA256	22
7.	ID生成	23
1	1 ID取得	23

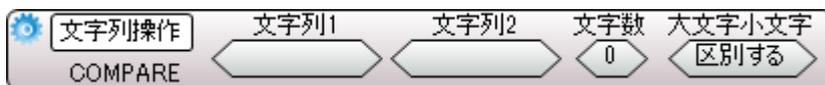


# 1. 文字列操作

文字列操作ファンクションでは以下の機能を使用できます。

## 1 COMPARE

2つの文字列の比較を行います



### ◆ パラメータ

#### 📄 文字列 1

比較対象の文字列を指定します。

#### 📄 文字列 2

比較対象の文字列を指定します。

#### 📄 文字数

比較する文字数を指定します。

0を指定した場合は文字列全体の比較となります。

文字列 1, 文字列 2 のいずれか、あるいは両方が指定した文字数より短い場合は不一致となります。

#### 📄 大文字小文字

アルファベットの大文字小文字を区別するかを指定します。

「区別する」を指定した場合は「a」と「A」の様に大文字小文字が異なるものは不一致とみなされます。「区別しない」を指定した場合は一致とみなされます。

### ○ 戻り値

文字列が一致した場合は「true」、一致しない場合は「false」が返ります。

## 2 MID

文字列の一部を抜き出します。



## ◆ パラメータ

## 📖 文字列

抜き出し元の文字列を指定します。

## 📖 開始位置

抜き出す位置を 0 からのインデックスで指定します。

## 📖 文字数

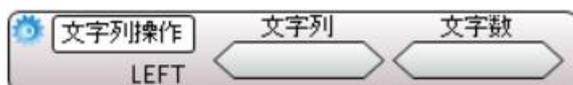
抜き出す文字数を指定します。

## ○ 戻り値

抜き出した文字列を返します。

## 3 LEFT

文字列の左側から指定した文字数分の文字列を取得します。



## ◆ パラメータ

## 📖 文字列

抜き出し元の文字列を指定します。

## 📖 文字数

抜き出す文字数を指定します。

## ○ 戻り値

抜き出した文字列を返します。

文字列が指定した文字数に満たない場合は文字列全体を返します。

## 4 RIGHT

文字列の右側から指定した文字数分の文字列を取得します。



## ◆ パラメータ

## 📖 文字列

抜き出し元の文字列を指定します

## 1 文字列操作

### 文字数

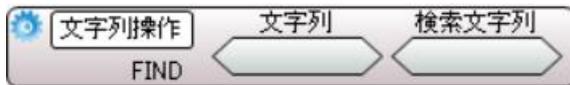
抜き出す文字数を指定します

### ○ 戻り値

抜き出した文字列を返します。  
文字列が指定した文字数に満たない場合は文字列全体を返します。

## 5 FIND

文字列から指定の文字列を検索し、インデックスを返します。



### ◆ パラメータ

#### 文字列

検索元の文字列を指定します。

#### 検索文字列

検索する文字列を指定します。

### ○ 戻り値

検索した文字列のインデックスを返します。  
文字列中に検索文字列が見つからなかった場合は-1を返します。

## 6 LEN

文字列の長さを取得します。



### ◆ パラメータ

#### 文字列

長さを取得する文字列を指定します。

### ○ 戻り値

文字列の長さを返します。  
取得できる長さは文字数となります。かなや漢字などの複数バイト文字も1文字として計上します。

## 7 REPLACE

文字列中の指定の文字列を置き換えた文字列を取得します。



### ◆ パラメータ

#### 🔍 文字列

置き換え元の文字列を指定します。

#### 🔍 置き換え元

置き換え元の文字列を指定します。

#### 🔍 置き換え先

置き換え先の文字列を指定します。

### ○ 戻り値

指定した文字列中の「置き換え元」文字列を「置き換え先」文字列に置き換えた文字列を返します。

## 8 UPPER

指定した文字列の英小文字を大文字に変換した文字列を取得します。



### ◆ パラメータ

#### 🔍 文字列

変換元の文字列を指定します。

### ○ 戻り値

指定した文字列内の英小文字全てを英大文字に変換した結果の文字列を返します。

## 1 文字列操作

### 9 LOWER

指定した文字列の英大文字を小文字に変換した文字列を取得します。



#### ◆ パラメータ

##### 🔍 文字列

変換元の文字列を指定します。

#### ○ 戻り値

指定した文字列内の英大文字全てを英小文字に変換した結果の文字列を返します。

### 10 TRIM

指定文字列の左右の空白を削除します。



#### ◆ パラメータ

##### 🔍 文字列

空白を削除する前の文字列を指定します。

#### ○ 戻り値

指定した文字列の左右の空白を削除した後の文字列を返します。

### 11 PADDING

指定文字列の左側を指定の文字で埋めて桁合わせします。



#### ◆ パラメータ

##### 🔍 文字列

桁合わせする文字列を指定します。

**桁数**

桁数を指定します。

**文字**

桁が不足する場合に桁埋めする文字を指定します。

**○ 戻り値**

桁合わせ後の文字列を返します。

以下のように指定した場合、「0000000012」を返します。



# 2. 数値操作

数値操作ファンクションでは以下の機能を使用できます。

## 1 ROUND

指定した数値を四捨五入した結果を返します。



### ◆ パラメータ

#### 値

四捨五入する数値を指定します。

#### 桁数

小数点の位置を起点として、四捨五入する桁の位置を指定します。  
以下のように指定した場合は、「1.25」を返します。



0 以下の値を設定した場合は、整数部分で四捨五入します。  
以下のように設定した場合、「12300」を返します。



### ○ 戻り値

指定した数値を四捨五入した結果を返します。

## 2 ROUNDUP

指定した数値の端数を切り上げた結果を返します。



### ◆ パラメータ

#### 値

合計する値を列挙するオブジェクトを指定します。

### 桁数

小数点の位置を起点として、切り上げる桁数を指定します。  
以下のように指定した場合は「1.25」を返します。



0以下の値を設定した場合は、整数部分で四捨五入します。  
以下のように設定した場合、「12400」を返します。



## ○ 戻り値

指定した数値を切り上げた結果を返します。

## 3 ROUNDDOWN

指定した数値の端数を切り上げた結果を返します。



## ◆ パラメータ

### 値

合計する値を列挙するオブジェクトを指定します。

### 桁数

小数点の位置を起点として、切り捨てる桁数を指定します。  
以下のように指定した場合は「1.24」を返します。



0以下の値を設定した場合は、整数部分で四捨五入します。  
以下のように設定した場合、「12400」を返します。

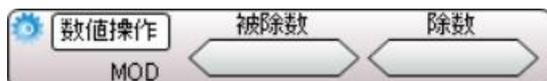


## ○ 戻り値

切り捨てた結果を返します。

## 4 MOD

割り算の余りを返します。



### ◆ パラメータ

 **被除数**

余りを求める元の数値を指定します。

 **除数**

割る数値を指定します。

### ○ 戻り値

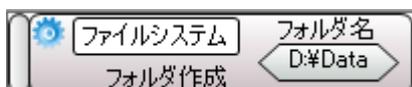
被除数に指定した数値を序数で割った余りを返します。

# 3. ファイルシステム

ファイルシステムファンクションでは以下の機能を使用できます。

## 1 フォルダ作成

フォルダ作成では、任意の名称のフォルダを作成します。



「フォルダ名」に指定したパスのフォルダを作成します。

### ◆ パラメータ

#### 📁 フォルダ名

作成するフォルダ名をフルパスで設定します。

フォルダ名に指定したフォルダまでの間のフォルダが作成されていない場合は合わせて作成します。

### ○ 戻り値

以下のいずれかを返します。

戻り値	概要
フォルダ名不正	フォルダ名が未指定です。
正常終了	フォルダの作成が正常に行われました。
エラー	フォルダの作成に失敗しました。

## 2 ファイルコピー

ファイルコピーでは、任意のファイルをコピーします。



コピー対象のファイルは、ワイルドカード文字(「\*」 「?」)を指定して複数のファイルを指定することもできます。

### ◆ パラメータ

#### 📁 コピー元

コピー対象のファイルをフルパスで指定します。

「D:¥Data¥\*. \*」のようにワイルドカードを使用して複数のファイルを指定することができます。

#### 📁 コピー先

ファイルのコピー先をフルパスで設定します。

コピー元にワイルドカードを指定する場合は、コピー先はフォルダ名である必要があります。

コピー元にワイルドカードを指定せず単体のファイル名を指定する場合は、コピー先はファイル名かフォルダ名のどちらでも使用できます。

ファイル名を指定した場合は、コピー元ファイルをコピー先に指定したファイル名に改名してコピーします。

フォルダ名を指定した場合は、そのフォルダ以下にコピー元と同じ名称のファイルとしてコピーします。この場合、フォルダ名は「D:¥Data¥」のように末尾に¥マークを付ける必要があります。

#### 📁 上書きモード

コピー先に同名のファイルが存在する場合の処理を指定します。

以下の3種類から選択します。

中止	コピー処理を中止します。
スキップ	対象のファイルをコピーせずに、コピー処理を継続します。
上書き	対象のファイルを上書きします。

#### 📁 コピーモード

コピー処理のモードを設定します。以下のどちらかを選択します。

コピー	コピー元のファイルを保持してコピー処理を行います。
移動	コピー完了後にコピー元のファイルを削除します。

#### 📁 サブフォルダ処理

ワイルドカード指定した場合に、そのフォルダ以下のサブフォルダに存在するファイルも処理するかを指定します。

「有効」を選択すると、サブフォルダ内の該当ファイルもコピーします。

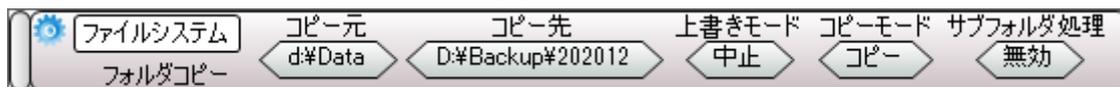
## ○ 戻り値

以下のいずれかを返します。

戻り値	概要
コピー先パス不正	コピー先の指定が不正です。
ファイル名不正	コピー元のファイルが未指定です。
ファイル重複	コピー先に同名のファイルが存在します。 (上書きモードに「中止」を設定した場合に返されます。)
フォルダ重複	コピー先に同名のフォルダが存在します。 (上書きモードに「中止」を設定した場合に返されます。)
ファイルが存在しない	コピーされるファイルが存在しないときに返されます。
正常終了	コピーが正常に行われました。
エラー	1つ以上のファイルのコピー処理に失敗しました。

## 3 フォルダコピー

フォルダコピーでは、任意のフォルダを別のフォルダにコピーします。



## ◆ パラメータ

## 📁 コピー元

コピー対象のフォルダをフルパスで指定します。

## 📁 コピー先

フォルダのコピー先をフルパスで設定します。

コピー先のフォルダが存在しない場合は、作成されます。

「D:\Backup」のように指定した場合は、コピー元フォルダの内容を「D:\Backup」フォルダにコピーします。「D:\Backup¥」のように、末尾に¥マークをつけて指定した場合は「D:\Backup」の下にコピー元の名称のフォルダを作成し、内容をコピーします。

## 📁 上書きモード

コピー先に同名のファイルが存在する場合の処理を指定します。

以下の3種類から選択します。

中止	コピー処理を中止します。
スキップ	対象のファイルをコピーせずに、コピー処理を継続します。
上書き	対象のファイルを上書きします。

## 📁 コピーモード

コピー処理のモードを設定します。以下のどちらかを選択します。

コピー	コピー元のフォルダを保持してコピー処理を行います。
移動	コピー完了後にコピー元のフォルダを削除します。

### 3 ファイルシステム

#### サブフォルダ処理

コピー元のフォルダにサブフォルダが存在する場合に、そのサブフォルダをコピーするかを指定します。

「有効」を選択すると、サブフォルダもコピーします。

#### ○ 戻り値

以下のいずれかを返します。

戻り値	概要
コピー先パス不正	コピー先の指定が不正です。
フォルダ名不正	コピー元のフォルダが未指定です。
ファイル重複	コピー先に同名のファイルが存在します。 (上書きモードに「中止」を設定した場合に返されます。)
フォルダ重複	コピー先に同名のフォルダが存在します。 (上書きモードに「中止」を設定した場合に返されます。)
ファイルが存在しない	コピーされるファイル・フォルダが存在しないときに返されます。
正常終了	コピーが正常に行われました。
エラー	1つ以上のファイル・フォルダのコピー処理に失敗しました。

## 4 削除

削除では、指定したファイル・フォルダを削除します。



### ◆ パラメータ

#### パス

削除するファイル・フォルダをフルパスで指定します。

「D:\¥Data¥\*.」のようにワイルドカードを使用して複数のファイルを指定することができます。

#### サブフォルダ処理

ワイルドカード指定した場合に、削除対象のフォルダのサブフォルダ内のファイルも削除するかを指定します。

「有効」を選択すると、サブフォルダ内の該当ファイルを削除します。

## ○ 戻り値

以下のいずれかを返します。

戻り値	概要
ファイル名不正	パスに指定したファイル名、あるいはフォルダ名が不正。
ファイルが存在しない	削除対象のファイル・フォルダが存在しない。
正常終了	削除処理が正常に行われました。
エラー	1つ以上のファイルの削除に失敗しました。

## 5 検索

検索では、指定したファイル・フォルダが存在しているかを確認します。



## ◆ パラメータ

## 📁 パス

検索するするファイル・フォルダをフルパスで指定します。

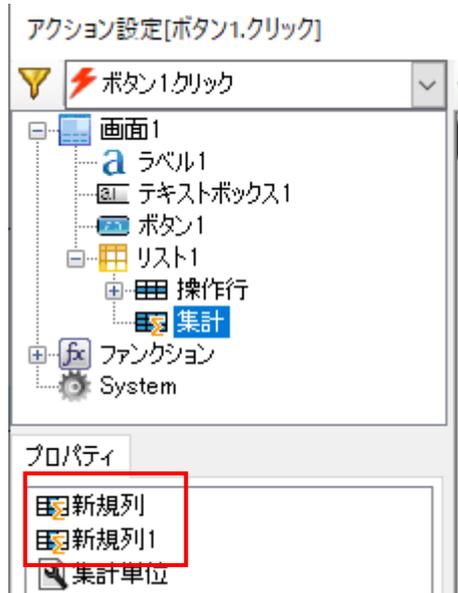
## ○ 戻り値

以下のいずれかを返します。

戻り値	概要
なし	指定のファイル・フォルダが存在しない。
あり	指定のファイル・フォルダが存在する。
エラー	指定のパスを確認する際エラーが発生した。

# 4. 集計

集計ファンクションでは指定した集計オブジェクトの内容を集計した結果を取得できます。集計オブジェクトは、画面部品の「リスト」から取得します。



集計されるデータはリストに設定されたものとなり、集計ファンクション実行前に「集計単位」を設定しておくことでリスト中の「全データ」と「ページ単位」で集計を行うことができます。

## 1 SUM

指定したデータの合計を算出します。



### ◆ パラメータ

#### 値

集計する集計オブジェクトを指定します。

### ○ 戻り値

指定した集計オブジェクトの合計値を返します。

## 2 AVERAGE

指定した値の合計を平均します。



### ◆ パラメータ

#### 値

集計する集計オブジェクトを指定します。

### ○ 戻り値

指定した集計オブジェクトの平均値を返します。

## 3 MIN

指定した値の最小値を算出します。



### ◆ パラメータ

#### 値

集計する集計オブジェクトを指定します。

### ○ 戻り値

指定した集計オブジェクト内のデータの最小値を返します。

## 4 MAX

指定した値の最大値を算出します。



### ◆ パラメータ

#### 値

集計する集計オブジェクトを指定します。

### ○ 戻り値

指定した集計オブジェクト内のデータの最大値を返します。

# 5. 日時取得

日時取得ファンクションでは以下の機能を使用できます。

## 1 YEAR

日時データから年を取り出します。



### ◆ パラメータ

#### 📁 日時

取り出し元の日時を指定します。

### ○ 戻り値

日時データから年を取得し、西暦4桁の数値として返します。

## 2 MONTH

日時データから月を取り出します。



### ◆ パラメータ

#### 📁 日時

取り出し元の日時を指定します。

### ○ 戻り値

日時データの月を取得し、数値として返します。

## 5 日時取得

## 3 DAY

日時データから日を取り出します。



## ◆ パラメータ

## 🔍 日時

取り出し元の日時を指定します。

## ○ 戻り値

日時データの日を取得し、数値として返します。

## 4 HOUR

日時データから時を取り出します。



## ◆ パラメータ

## 🔍 日時

取り出し元の日時を指定します。

## ○ 戻り値

日時データの時間部分を取得し、24H の数値として返します。

## 5 MINUTE

日時データから分を取り出します。



## ◆ パラメータ

日時

取り出し元の日時を指定します。

## ○ 戻り値

日時データの分を取得し、数値として返します。

## 6 SECOND

日時データから秒を取り出します。



## ◆ パラメータ

日時

取り出し元の日時を指定します。

## ○ 戻り値

日時データの秒を取得し、数値として返します。

## 7 WEEKDAY

日時データから曜日番号を取り出します。



## ◆ パラメータ

日時

取り出し元の日時を指定します。

## ○ 戻り値

日時データの曜日番号を返します。

曜日番号は 0~6 の数値で、以下ようになります。

0:日曜日 1:月曜日 2:火曜日 3:水曜日 4:木曜日 5:金曜日 6:土曜日

## 8 ToDate

文字列から日時データを取得します。



### ◆ パラメータ

#### 📎 value

文字列を指定します。

### ○ 戻り値

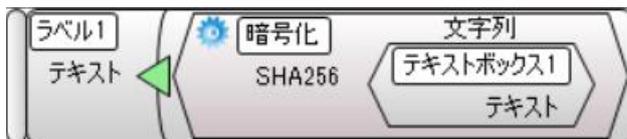
日時データを返します。

# 6. 暗号化

暗号化ファンクションでは以下の機能を使用できます。

## 1 SHA256

指定文字列を SHA256 でハッシュ化した文字列を取得します。



### ◆ パラメータ

#### 📄 文字列

ハッシュ値を求める元の文字列を指定します。

### ○ 戻り値

指定した文字列を SHA256 で暗号化した文字列を返します。

# 7. ID 生成

ID 生成ファンクションでは以下の機能を使用できます。

## 1 ID 取得

GUID を生成し、取得します。



### ◆ パラメータ

パラメータはありません。

### ○ 戻り値

生成した GUID を返します。

 **RADEN** ファンクション  
リファレンスマニュアル

---

2020年 7月 1日 第1版

2023年 3月28日 第2版

発 行

**株式会社 KIT**

〒460-0026

愛知県名古屋市中区伊勢山2丁目11-15 ASビル金山

Copyright (c) 2012 KIT Co., Ltd. All Rights Reserved.